

3年 技術・家庭（家庭分野） シラバス

1 技術・家庭科（家庭分野）の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成します。

2 教科における重点目標等

日常生活の中から問題を発見して課題を設定し、解決に向けて既習事項をもとに話し合い活動を行う。また、さらに家庭や地域で実践できるようにします。

生活に必要な基礎・基本の知識及び技能を習得できるようにします。

3 学力を向上させる方法

(1) たくさん発表する機会を設け、自信をもって意見を言える雰囲気のある授業をつくりまします。難しく考えず、普段の生活を振り返りながら学習に取り組みまします。

(2) 理解を深めるために、実験や実習を取り入れた授業を行います。積極的に取り組みまします。

(3) 生活に密着した題材・生活に役立つ題材をもとに、楽しく授業を進めます。いつでも、どんなことでも質問してください。

4 評価の観点

評価の観点	観点の内容	評価の方法
知識・技能	家庭生活に関する基礎的・基本的な知識が身についているかを評価します。また、生活に関する技能（調理・裁縫など）がしっかりと身についているかを評価します。	レポート、ノート・学習プリント作業・実習の様子、知識、作業・実習、技能の習熟状況、定期テスト、完成作品、実技試験
思考・判断・表現	生活をより良くしようとするものの見方や考え方ができているか、問題解決にむけた思考の過程やアイデアを評価します。	作業や実習への取り組み、授業の様子、作品・ノート等の提出物、実習記録、計画・記録、定期テスト
主体的に学習に取り組む態度	自らの生活を振り返りながら意見をまとめることや、家庭生活に関する知識・技能を習得しようと学習活動に取り組もうとしているかを評価します。	出席状況、授業に取り組む態度、挙手・発言等、ノート等の提出物

5 家庭学習の仕方

技術・家庭科は、生活に密着した題材・生活に役立つ題材をもとに授業を進めます。自分の生活を振り返り、既習後は、生活の中で実践し習得まします。

学期	単元名	学習のポイント
1 学期	A. 幼児の生活と家族 ★幼児の頃と今の自分 ★幼児の体の発達 ★幼児の心の発達 ★発達のおとなの役割 ★遊びが必要なわけ ★遊びを支える環境	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の成長を振り返り、幼児期への関心を高めます。 ・赤ちゃん人形を用いて抱っこの仕方などを体験しながら学びます。 ・幼児の心身の発達の特徴を知り、子どもが育つ環境とおとなの役割について考えます。 ・幼児にとっての遊びの意義や遊ぶ環境について考えます。 ・家庭や家族の機能を知り、家族関係をよりよくする方法について考えます。 ・家庭と地域のかかわりについて学習します。
2 学期	A. 幼児とのかかわり ★幼児とのよりよい関わり方 ★子どもの成長と地域 ★幼児の食べ物 A. 家庭生活と地域の関わり ★家庭生活と地域での活動 ★多様な人々が暮らす地域 ★地域に暮らす高齢者 ★高齢者とかかわり A. 持続可能な家庭生活 ★持続可能な家庭生活	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児と触れ合うときの注意点等を考えます。 ・地域のつながりについて知り、地域の中で中学生ができることを考えます。 ・幼児の食べ物はどんなものか学習します。 ・家庭生活が地域との相互の関わりで成り立っていることを知り、多様な人々が暮らせるための工夫ができるようにします。 ・見守りが必要な高齢者等、様々な人との関りを考えます。
3 学期	A. 家族・家庭と子どもの成長 ★自分の成長と家族	<ul style="list-style-type: none"> ・幼い頃の自分について家族や知人から情報を集め、「タイムスリップ」を製作します。 ・自分の成長を振り返り、自分と家族や家庭生活とかかわりについて考えます。

※A. 家族・家庭生活、B. 衣食住の生活、C. 消費生活・環境の3つの領域を3年間で学習します。